

〈シンポジウム〉テーマ一覧

- 頸肩腕症候群 1 卷 2 号(1966 年)
- 義手・義足 1 卷 9 号(1966 年)
- 脊髄損傷 2 卷 1 号(1967 年)
- 先天性筋性斜頸 私の治療法 2 卷 2 号(1967 年)
- 先天性股関節脱臼 私の治療法 2 卷 3 号(1967 年)
- 関節リウマチの治療 2 卷 4 号(1967 年)
- Ewing 腫瘍とその周辺 2 卷 5 号(1967 年)
- 骨肉腫の治療および予後 2 卷 5 号(1967 年)
- 腰痛 2 卷 6 号(1967 年)
- 脳性麻痺 2 卷 8 号(1967 年)
- いわゆる鞭打ち損傷 3 卷 4 号(1968 年)
- 脊髄損傷患者に対する早期脊椎
固定術の適応と成績 3 卷 5 号(1968 年)
- 腕神経叢損傷 3 卷 8 号(1968 年)
- 内反足 3 卷 9 号(1968 年)
- 日本の義肢問題 3 卷 10 号(1968 年)
- 股関節形成術 3 卷 11 号(1968 年)
- 腰部椎間板症 4 卷 8 号(1969 年)
- 四肢末梢血管障害 6 卷 7 号(1971 年)
- 膝の人工関節 7 卷 10 号(1972 年)
- 乳幼児先天性股脱の手術療法 8 卷 2 号(1973 年)
- 顔面外傷 8 卷 5 号(1973 年)
- 移植皮膚の生体 8 卷 10 号(1973 年)
- 変形性股関節症の手術療法 9 卷 7 号(1974 年)
- 慢性関節リウマチの前足部変形
に対する治療 10 卷 7 号(1975 年)
- 関節軟骨の病態 10 卷 10 号(1975 年)
- 頸部脊椎症性ミエロパチー 10 卷 11 号(1975 年)
- Silicone rod 11 卷 2 号(1976 年)
- 五十肩の治療 14 卷 7 号(1979 年)
- 最近の抗リウマチ剤の動向 14 卷 9 号(1979 年)
- CT と整形外科 15 卷 4 号(1980 年)
- 先天股脱の予防 15 卷 5 号(1980 年)
- 胸椎部脊椎管狭窄症の病態と治療
..... 16 卷 1 号(1981 年)
- 人工股関節置換術——この 10 年
の結果をふりかえて 16 卷 2 号(1981 年)
- Multiply operated back の
心因性要因 16 卷 3 号(1981 年)
- Riemenbügel 法不成功例の
原因と対策 16 卷 3 号(1981 年)
- 腰部脊柱管狭窄——ことに degenerative
stenosis の診断と治療 16 卷 6 号(1981 年)
- 脱臼とペルテスとペルテス病 16 卷 8 号(1981 年)
- 義肢装具をめぐる諸問題 16 卷 9 号(1981 年)
- 特発性大腿骨頭壊死 16 卷 11 号(1981 年)
- 動揺性肩関節 16 卷 12 号(1981 年)
- 人工股関節再手術例の検討 17 卷 11 号(1982 年)
- 先天股脱初期整復後の側方化 18 卷 6 号(1983 年)
- 悪性軟部腫瘍の病理診断をめぐる
..... 18 卷 9 号(1983 年)
- 四肢軟部腫瘍 18 卷 11 号(1983 年)
- 電気刺激による骨形成 18 卷 13 号(1983 年)
- 関節鏡視下手術 19 卷 1 号(1984 年)
- 小児股関節(第 22 回先天股脱研究会より)
..... 19 卷 6 号(1984 年)
- 人工股関節再置換術の問題点 20 卷 5 号(1985 年)
- 骨巨細胞腫の診断と治療 20 卷 7 号(1985 年)
- 骨肉腫の化学療法 20 卷 11 号(1985 年)
- 骨盤臼蓋の発育 21 卷 1 号(1986 年)
- 頸椎多数回手術例の検討 21 卷 7 号(1986 年)
- 骨軟骨移植の進歩 21 卷 10 号(1986 年)
- Bioactive Ceramics 研究における最近の進歩
..... 21 卷 11 号(1986 年)
- セメントレス人工股関節 21 卷 12 号(1986 年)
- 陳旧性膝関節重度靱帯損傷の治療
..... 22 卷 1 号(1987 年)
- 陳旧性肘関節周囲骨折の治療 22 卷 2 号(1987 年)
- 骨悪性線維性組織球腫 22 卷 3 号(1987 年)
- 人工膝関節の長期成績 22 卷 5 号(1987 年)
- 多発骨傷 22 卷 7 号(1987 年)
- 椎間板注入療法の基礎 22 卷 8 号(1987 年)
- 骨肉腫の患肢温存療法 22 卷 10 号(1987 年)
- 日本におけるスポーツ整形外科の現状と将来
..... 23 卷 2 号(1988 年)
- 変形性股関節症に対する Bipolar 型人工骨頭の臨
床応用 23 卷 9 号(1988 年)
- 大腿骨頭壊死症の最近の進歩 23 卷 10 号(1988 年)
- 広範囲腱板断裂の再建 24 卷 1 号(1989 年)
- Rb 法の限界 24 卷 6 号(1989 年)
- 全人工股関節置換術—セメント使用と非使用: その
損失 25 卷 1 号(1990 年)
- 予防処置導入後の乳児先天股脱 25 卷 3 号(1990 年)
- 機能的電気刺激(FES)の基礎と臨床
..... 25 卷 9 号(1990 年)
- 先天性股関節脱臼に対する治療法の限界と展開
..... 26 卷 2 号(1991 年)
- 先天性股関節脱臼に対する牽引療法—その方法と後
療法を具体的に 26 卷 5 号(1991 年)
- 悪性骨軟部腫瘍への挑戦 26 卷 6 号(1991 年)
- 脊髄損傷の神経病理と MRI 画像
..... 26 卷 10 号(1991 年)
- 頸部脊柱管拡大術の長期成績 27 卷 3 号(1992 年)
- ペルテス病の長期予後 27 卷 5 号(1992 年)
- 膝十字靱帯再建における素材の選択
..... 27 卷 11 号(1992 年)
- 外反母趾の治療 28 卷 1 号(1993 年)
- 癌性疼痛に対する各種治療法の適応と限界

.....	28巻3号(1993年)
痛みを主徴とする新しい疾患概念, 特異病態	28巻6号(1993年)
関節スポーツ外傷の診断と治療—最近の進歩	29巻1号(1994年)
反射性交感神経性ジストロフィー(RSD)をめぐって	29巻2号(1994年)
変性腰部脊柱管狭窄症の手術的治療と長期成績	29巻6号(1994年)
慢性関節リウマチ頸椎病変	29巻7号(1994年)
長期成績からみた Bipolar 型人工股関節の適応の再検討	30巻1号(1995年)
機能的電気刺激(FES)の理論と実際	30巻2号(1995年)
膝関節の Unicompartmental Arthroplasty	30巻3号(1995年)
原発性脊椎悪性腫瘍の治療	30巻7号(1995年)
特別企画 阪神・淡路大震災—災害医療における整形外科医の役割	30巻11号(1995年)
特別企画 阪神・淡路大震災にまなぶ	30巻11号(1995年)
腰椎変性すべり症の手術	31巻1号(1996年)

骨肉腫の診断と治療のトピックス	32巻1号(1997年)
脊柱側弯症に対する最近の手術療法	32巻2号(1997年)
セメント手技の実際	32巻5号(1997年)
腰椎変性疾患に対する spinal instrumentation—適応と問題点—	32巻11号(1997年)
人工股関節置換術の再手術における私の工夫	33巻2号(1998年)
大きな骨欠損に対する各種治療法の利害得失	33巻3号(1998年)
骨組織に対する力学的負荷とその制御—日常臨床に生かす視点から	33巻8号(1998年)
日本における新しい人工膝関節の開発	34巻2号(1999年)
オステオポロシスの評価と治療方針	34巻3号(1999年)
整形外科と運動療法	34巻6号(1999年)
日本における新しい人工股関節の開発	34巻11号(1999年)
脊椎内視鏡手術—最近の進歩	34巻12号(1999年)

〈特集〉テーマ一覧

脊椎外科	9巻11号(1974年)
頸椎後縦靱帯骨化症	10巻12号(1975年)
Myelopathy・Radiculopathy	10巻12号(1975年)
腰部脊柱管狭窄の諸問題	11巻8号(1976年)
胸椎部ミエロパチー	12巻4号(1977年)
脊椎の炎症性疾患	13巻4号(1978年)
脊椎外傷—早期の病態・診断・治療	14巻4号(1979年)
脊椎腫瘍	15巻3号(1980年)
Multiply operated back	16巻4号(1981年)
脊椎分離症・汙り症	17巻4号(1982年)
上位頸椎部の諸問題(第11回脊椎外科研究会より)	18巻4号(1983年)
頸部脊椎症(第12回脊椎外科研究会より)	19巻4号(1984年)
Spinal Instrumentation(第13回脊椎外科研究会より)	20巻4号(1985年)
脊椎・脊髄外科診断学の進歩(第14回日本脊椎外科研究会より)	21巻4号(1986年)
腰仙部根症状の発症機序—基礎と臨床—(第15回日本脊椎外科研究会より)	22巻4号(1987年)
脊柱管内靱帯骨化の病態と治療(第16回日本脊椎外科研究会より)	23巻4号(1988年)
不安定頸椎—基礎と臨床—(第17回日本脊椎外科研究会より)	24巻4号(1989年)
不安定腰椎(第18回日本脊椎外科研究会より)	25巻4号(1990年)

主題 I : Spinal Dysraphism	26巻4号(1991年)
主題 II : Pedicular Screwing	26巻4号(1991年)
主題: 腰部脊柱管狭窄症研究の進歩	27巻4号(1992年)
主題: 腰部脊柱管狭窄症	27巻4号(1992年)
パネル I : 転移性脊椎腫瘍の手術的治療	27巻4号(1992年)
パネル II : 脊椎脊髄の MRI 診断	27巻4号(1992年)
主題: 各種治療法の適応と限界/椎間板ヘルニア	28巻4号(1993年)
主題: 脊椎とその周辺からの痛みの診断	28巻4号(1993年)
主題: 特異病態	28巻4号(1993年)
主題: 術後遺残疼痛	28巻4号(1993年)
主題: 痛みの基礎的研究	28巻4号(1993年)
椎間板—基礎と臨床	29巻4号(1994年)
特集 上位頸椎疾患—その病態と治療	30巻4号(1995年)
特別企画 頸部脊柱管拡大術—そのポイント	30巻4号(1995年)
脊椎外傷の最近の進歩(上位頸椎を除く)	31巻4号(1996年)
脊椎外科最近の進歩	32巻4号(1997年)
脊椎外科最近の進歩—OPLL を中心として	33巻4号(1998年)
脊椎外科最近の進歩—脊椎骨切り術と脊柱再建を中心として—	34巻4号(1999年)